

JAS Information

協会事業関連資料集 1

平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

昨年3月11日に発生した東日本大震災に被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

本協会は定款の目的に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル(以下オーディオ等)に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集・分析及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力、ソフト・ハード・出版物の制作・販売等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成23年4月1日付けで一般社団法人への移行を完了し、新定款に基づき理事会機能の強化、各種委員会機能の強化、事務局機能の強化を図ることで普及・啓発活動を推進しました。

平成23年度に実施した主たる事業は、定款第4条各号に沿った通りであります。

(第1号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

デジタルホームシアター普及委員会において一般家庭におけるマルチチャンネルスピーカー配置の実態調査をもとに専門家による音場評価を加えることで日本市場に合ったホームシアターの為の音響的評価基準の研究を進め、音響学会で発表しました。

(第2号) オーディオ等に関する普及及び啓発

5月1日の「サラウンドの日」に(社)電子情報技術産業協会(JEITA)と協力し各地の会員各社のショールーム等で「サラウンドの日」体感視聴会を開催しました。「音の日」には「音の匠」の彰を通じて音の世界の素晴らしさを認識していただくための活動を行いました。「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO (音展)」では協会主催の各種セミナーや生録会を実施しました。音展期間中「音のサロン」では良い音楽を良い再生環境で楽しむためのライフスタイル提案を行ないました。また、音展会場で青少年向けの啓発活動と生録会を開催しました。

(第3号) オーディオ等に関する基準の作成

第三世代オーディオ普及委員会ではモバイルオーディオ推進協議会(MAPI)を通じて携帯端末やスマートホンを使って家庭用オーディオ機器で音楽再生を行なうときの問題点の検討に活用する基準信号の配信を開始しました。

(第4号) オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供

会報 JAS ジャーナルを隔月で6冊発行しました。JAS ホームページでは JAS ジャーナルの配信を含めて年間約40万ページビューの利用がありました。ホームシアターサウンド Web はホームシアター普及に向けより具体的な情報を提供するサイトとして運営し、年間約45万ページビューの利用がありました。

(第5号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催

「オーディオ&ホームシアター展TOKYO」(音展)を平成23年10月21日~23日に秋葉原UDXと富士ソフトアキバプラザにて開催し、多くの方々にオーディオ等の最新情報の提供や視聴体験機会、セミナーを実施しました。

(第6号) オーディオ等に関する人材の育成

ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売従事者、建築士、インテリアコーディネーター、インストーラー等に役立つデジタルホームシアター構築のガイドライン作成と人材の育成のための「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座を開催し、平成22年度に続き、平成23年度には4回開講し延べ61名の合格者を認定しました。

(第7号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力

第18回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、最優秀4作品と優秀6作品の合計10作品の録音エンジニアとベストパフォーマーを「音の日」に表彰しました。

(第8号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つCD、DVD等の販売を行いました。

なお震災に見舞われた学校関係者の方々へのご支援として文部科学省と連携して会員企業の方々から提供していただいたオーディオ機器、音楽CDを被災された学校・団体に提供して教育や課外活動に活用していただきました。